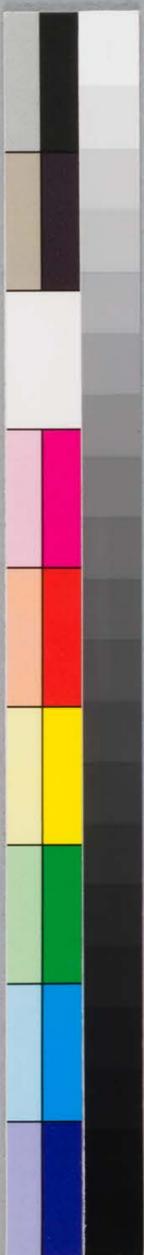


眼畫流之秘伝

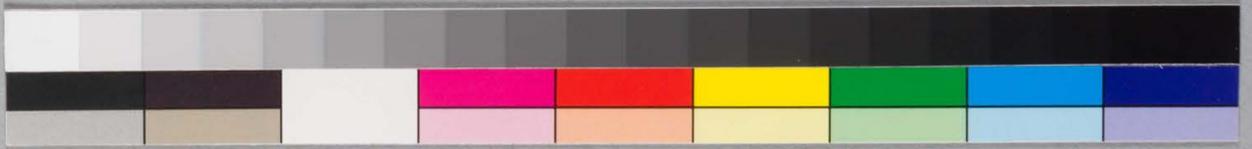
元和三年写





眼書一流之秘傳

史眼しがん五勝ごしょう乃の賢けんいめいいせいの
たかたか夫ふ小こ是是日月にげつの軌ぎとく
五勝ごしょう六府りくふれれ只ただきみきみなな目めり
ああまま川がわててわわのの賢けんいい史眼しがんの
ととりりししととななつつててららのの勝しょう小
そそくく正せいすすちち乃の賢けんいいととららままな
ここととままりりのの勝しょうよよととららままら
ままいいああららままららととななりり志しんんれ
勝しょういいととくくすす少せうくく只ただいいとと目めの



とき目方一ツきし
ゆききしひなりし

しきなりふあす也

龍腦膏 羅八張小

石 薬 かんき石 薬

石 薬 しのふ 薬

白薬一 二束

右方ふしやくしやくなり

太一膏

石 二束 かんき石 一束

ア 二束 かのめ 三束

右合しやくしやくなり

しやくなり

目方一

明石 二束 かのめ 少

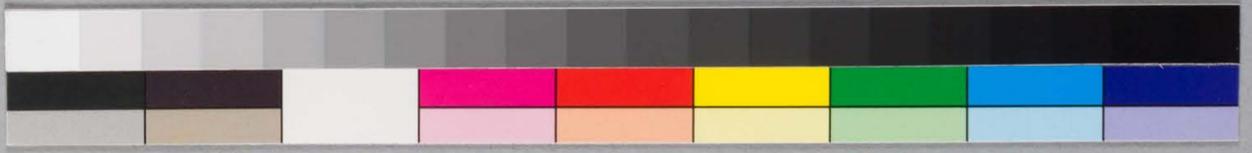
しやくなり

うきけなり

ろがしやくしやくなり

右合しやくしやくなり

しやくなり



らんきく あり

水しみんしーふーてうくこーと

右乃ちをり入て三日たきてう

いふいふあつてあつてあつて

をりてう

うひひかけらるり

まー 一糸 せんじゆ 一糸

白しろい 朱しゆがまゝい 朱しゆ

明石あかし 朱しゆまの河 朱しゆ

めんめん 少 せんじゆ 朱しゆ

アしなふあ

右をうこしふこーと御の

せらあかりー

鹿角ろくかく散さんうひひし葉は

せんじゆ 一合くまゝ 一合

まー 一合石けらる石 一合

アしなふ 一合右合せらるなり

竜腦りゆうのう散さんとんじゆ

石いし 一合 志し 朱しゆ

まー 朱しゆけらる石 少



あんまう 一乗 あんまうなま 少
右をさそこいりあり

黒明丹 くわいめいたん うけきまけき

あしなま 一乗 あやう 少

ろがしき 石 少

かんまい石 石 二塊 石

右へすりて

清眼散 せいがんさん うけひちまけき

あしなま 一乗 せんい 石

ろがしき 石 少

かんまい石 石 二塊 石

右へすり合す

竜腦散 りゅうのうさん ちめ大事の目者

あしなま 一乗 あやう 少

ろがしき 石 石

かん水石 石 少

右へすりて合すなり

真珠散 まじゆさん けい目者

あしなま 一乗 あやう 少

あしなま 一乗 あんま 少



あんどろり合 右とまり合

明教 此きめふり

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

右とまり合

白毫教 つきあふり

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

毫石教 うちあふり

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

金明教 うちあふり

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

あんどろり合 せうもん 二分

右とまり合

明珠教 うちあふり



あんどろ 二分
く石 二分

まきろう 二分
ちくやう 二分

かまひ 二分
うくせり合

天石散 二分
うくせり合

金の石 二分
ろん石 二分

あんどろ 二分
あくせき 二分

せんざい 二分
右くせり合

● 目くせり合

とら 白くせり合
右くせり合

海くせり合
右くせり合

● 目くせり合

ちくやう 二分
あくせき 二分

あくせき 二分
右くせり合

ちくやう 二分
あくせき 二分

● 天石散 二分
うくせり合

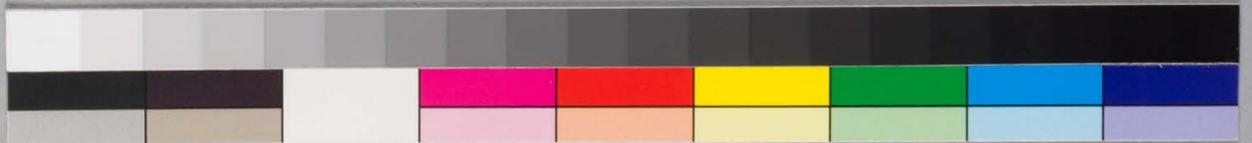
きよ 二分
ろん石 二分

あんどろ 二分
あくせき 二分

あんどろ 二分
あくせき 二分

あんどろ 二分
あくせき 二分

ちくやう 二分
あくせき 二分



わしや二分 せいのしん一分
きんせいの二分 せいのしん一分
あやう一分 せいのしん一分
あやう一分 せいのしん一分

● せいのしん一分

あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分

● せいのしん一分

あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分
あやう二分 せいのしん一分



かんじい石 五分
あやう 五分

あしなま 少
石合 五分

あしなま 少 妙薬

かんじい石 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 二分

あしなま 五分
石合 五分

風眼 全子 少

かんじい石 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分

かんじい石 五分

霍貝 教

あしなま 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分

かんじい石 五分

丹竜 敬 惣薬

あしなま 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分

あしなま 五分
あしなま 五分



あんまん少 かくん花ん 中

ふん 一 薬 ちんん 中

右をん 一 中

あん 一 薬

ふん 一 中

ふん 一 中

かん 一 少 右をん 一 中

同薬

ふん 一 中

あん 一 中

こん 一 中

強指ん 一 中

青敬

ふん 一 中

あん 一 中

あん 一 中

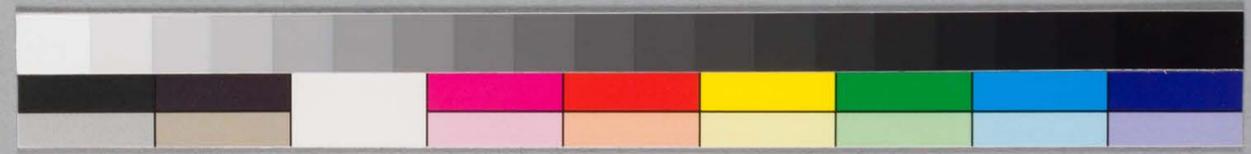
あん 一 中

同薬

あん 一 中

あん 一 中

あん 一 中



そくしつりくしんを

外障之内薬うけくき

りんらん 二分 口んきん

大豆 二分 小豆 五分

右即かかぬりてらりてり

はく小豆をくくくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく

何之血月吉

小豆 五分 白米に

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

くくくくくくくくくく

中障之内薬

くくくくくくくくくく
くくくくくくくくくく



らんらん 一分 りんりん 二分

らんらん 少 りんりん 命

俄風 カサカサ 引 カサ りんりん

らんらん 二分 りんりん 二分

らんらん 二分 大らん 二分

小豆 かん かんらん かん

らんらん かんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらんらん

らんらん 二分 りんりん 二分

らんらん 二分 りんりん 二分

らんらん 二分 りんりん 二分

らんらん

右目らんらんらんらんらん

血らんらんらんらんらんらん

らんらんらんらんらんらんらん

らんらんらん



外障之因藥

三母 大母 一母

三母 三母 二母

三母 三母 三母

三母 一母 一母

小豆 一母 右中 一母

黃連四物湯

三母 二母 大母 一母

三母 一母 三母 二母

三母 三母 一母 一母

血ひきかめらふ妙なり

芎藭散

これを目の下に敷くは

赤くしむるがごとく

あるいはあましく

は葉をあらわす

はるるにらるる

大母 三母 日一母

日一母 一母 一母

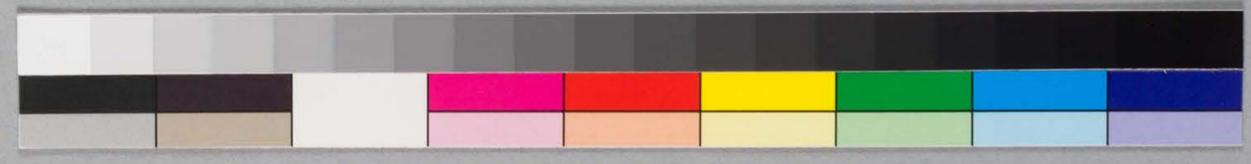
そのほへあふなり



見んまゝ 一 けんち 二
かんせん 三 右湯と用六
まけあゝと用はらゝとあ
たゆらうなひゑの物といひ
倉一風とひらぬやうふて
あめあゝとあたまいあゝと
まほ一てとまゝ一右の
丸葉〇あゝとわ稲とあゝ
倉一ぼつとらのみらと
とらとまゝなり

人参湯

たつき 二 けんち 一
かんち 一 かんち 一
ちんち 二 まち 一
かんち 二 かんち 一
右の 一 かんち 一
目と 一 かんち 一
まち 一 かんち 一
ちんち 一 かんち 一
かんち 一 かんち 一



右等分ありて用事の目
日...
層

家一代之雖為極意色々
依佛執心相傳之者也

慶長九曆

南呂盃五日



眼裏秘傳鈔

老人虚人或病後小血
もま目らひりうもく
事あまうらうらるる虚也
血もたきなりを
志月神或風神に
とと神うく血のあり目あり
神うくもむは血神と
て吉風ふあり俄あり
るまか

もくや
か神川一あり
らして目あり
もくえん
らま
らん
きわ
血神
かえん
肥人



防風 目一え ちんちん

瘦人 小血水也 ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

ちんちん ちんちん

一内障ないしやう 小血水也 ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

右目みぎめ 一用也 外障 内障

或風熱かぜ 流なが ちんちん 西眼さいがん

ちんちん 小血水也 ちんちん

ちんちん ちんちん 白芷びやくし

ちんちん ちんちん ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

常流じょうりゅう けいぶ ちんちん ちんちん

右目みぎめ 一用也 外障 内障

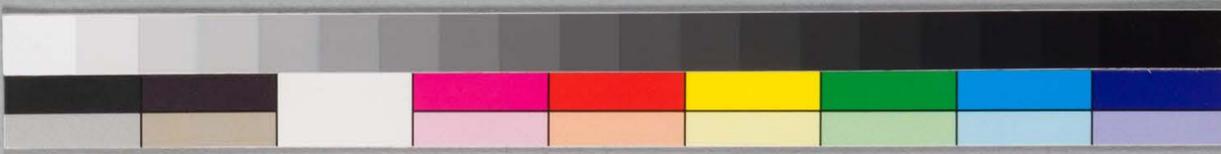
一内障ないしやう 小血水也 ちんちん

れんちん 或血水也 ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

ちんちん ちんちん ちんちん

右目みぎめ 一用也



一飲食いんじきをつてたまはしめて
ら流れて目々を或は
内障ないぢやうを治す

目々めめを治す 目々めめを治す
右等分みぎらうぶんに分けて可べなり

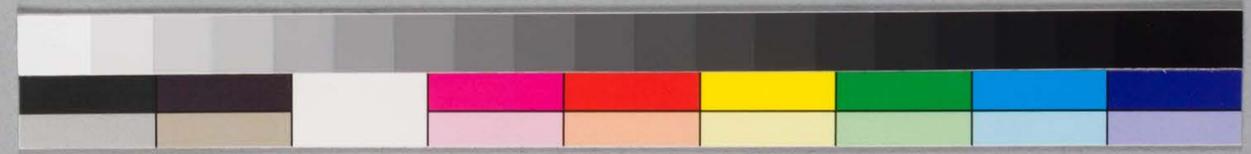
一風をひき目ありく治す
目々めめを治す 目々めめを治す

目々めめを治す 目々めめを治す
防風ぼうふう 目々めめを治す
芍薬しやくやく 目々めめを治す 目々めめを治す
右等みぎらう分ぶんに分けて可べなり

眼裏見様之事がんらいけんじやうのじ

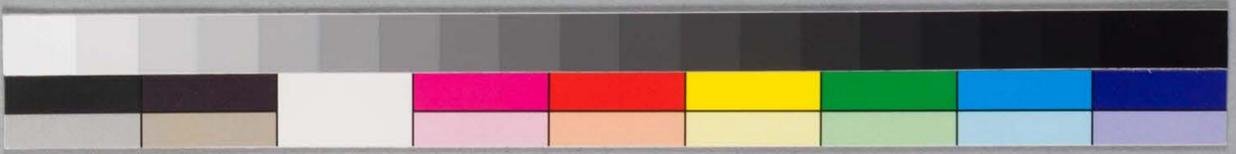
病目びやうめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す

風眼ふうがんを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す
目々めめを治す 目々めめを治す



ひききくはきき風眼と見
てりしきりなりんそ此
乾を令内薬洗薬
ころあを令指薬小是
明星散志の乾
外障をゆりたけし綿と
はししけもるしきまりいふ
りりしきりつじ乾
しきりしきりしきりしきり
みりしきりしきりしきり

ころしきりしきりしきり
しきりしきりしきりしきり
障しきりしきりしきり
膏一日ふ三度扱てしきり
令内薬を右ふあり
内障ふしきりしきりしきり
しきりしきりしきりしきり
目りしきりしきりしきり
乾しきりしきりしきり
散りしきりしきりしきり



ありつゝのけ業あり可成内
業あり右ふあり

白内障を腫子まろこのらふ小

水と多しぬるがごとく大五

金膏のけ業あり可成内業

を右にあり目敷めぢとありけ

らひのまらふらとて管くだなり

なるものぬらふなり

白内障を腫子のらふらふ此

目よりとも黒くろとありあり

黒くろとありありありありあり

を右にありつゝ目敷

にありつゝ管くだなり

らひのまらふらとて大五金膏

小のけ業ありつゝ内薬を

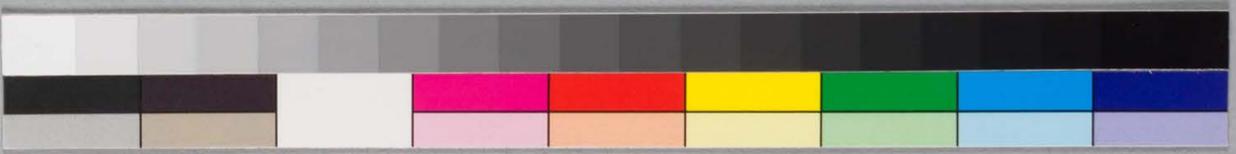
肝胃かんいとありありありあり

黄内障わうないじやうとありありあり

とありありありありありあり

見らふなりつゝありありあり

ありありありありありあり



三月ありなれとる人見に
かりてありり臍子のあつと
見ハ急小倉うしかりして
り臍子にあらせていしりじ
り臍子にあらせていしりじ
ハ金膏うしけ業を丹珠散を
一日小三度つてちのふむらうま
黒内障を大事此目より大方
も心腎つとて人病者
乃好小内障と成也黒はる

悪黒子佛乃ちこころあつて人
もんちのふむらうま
まらうまのふむらうま
りらうまのふむらうま
佛とくきうハ銅善散を
高うしりてハ金膏を
して一日おきてうしけ業一日
小三度つてうしけ一日あつ
て右乃ちうしけうしけを
内薬を右にあり



竜腦二束 石ころ二分 明礬一分

水石一分 口乳一分 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 合

○真珠膏 惣薬

白一分 石ころ一分 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 合

○天華散 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 石ころ一分

石ころ一分 何と口傳あり

○銅青散 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 石ころ一分

竜腦一分 石ころ一分 合

○烏目乃薬之事

雀首一分 石ころ一分 合

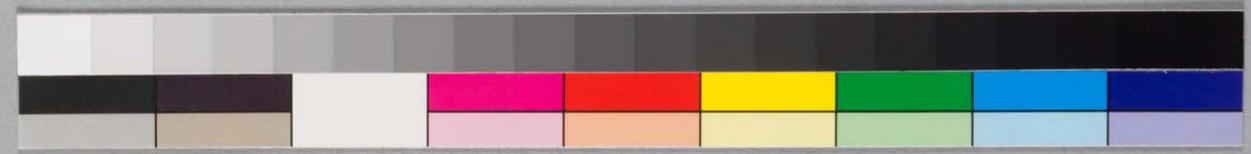
石ころ一分 石ころ一分 合

○洗薬 石ころ一分

石ころ一分 石ころ一分 合

石ころ一分 石ころ一分 合

石ころ一分 石ころ一分 合



玉石藥性論

石膏 惣業也

けりしと命 目乃内

げそのの強き

かきけふ入

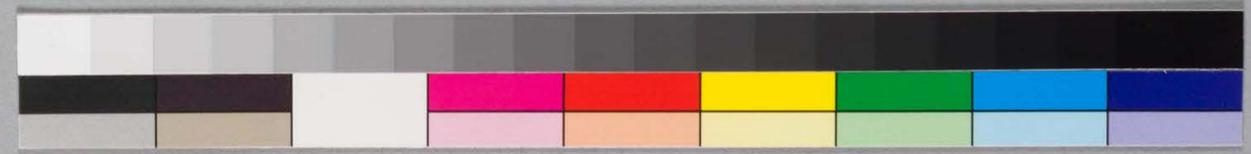
火れいあ

水石 惣業也

うつき

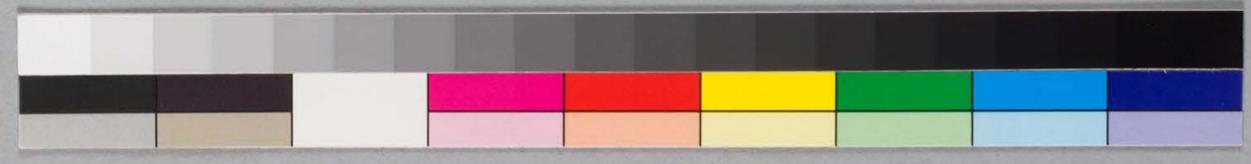
あう

かし也



明礬 目乃内のおふ吉
そひとまががまぬる業也
けふ入火のこゑになき水を入れて
いゑつゆかりと燻つゝまなり
真珠 外障の目乃内とす
あつす目乃まろくすつゝくも
溜たまりとほゆるます也
そわつておれらぬと燻てふ
ぬあらうりて燻たらるるむむ
燻令たらるるむむとせり

明石 うち目はき目を守目金み
目乃の目乃内とひやま業也
あつづの縁なりとされふはあつ
ほちとぬくはしてす
みてこゝろとまろくすつゝ
とわつとあつとせり
滑石 外障の目乃内とす
あつす目の内とす
お吉そのはし
白毫 外障の目乃内とす



あまのりからいやすめり代小
若らうのころ七二三年とる為
ふくくくくくく水とあつ口に
叩てこきげれとすうまの志
てらあつてれつかふなり

● **肥骨** 骨外障小骨ころから
いふもあつてころあつてのて

● **角石** 骨外障小骨血障あつて
すまうらからいやす麻のほの白

とあつてころ三つを嫌すといふは傳
あり

● **塩硝** 煎薬也志む薬也湯と云

ふき目小骨目あつて内障れ
いふもあつてれからあつて小令

あつてはれ水とくくくくくを
くくくくくくくくくくくくくくく

時効くくくくくく

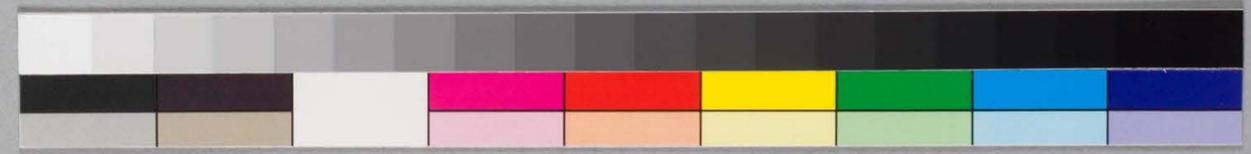
● **光明丹** 煎てあつき湯のれ
とあつてれからあつてあつて
ひくくくくくくくくくくくく

● **竜腦** 煎薬也目入田といふす



白丁番 いんぎん とびらき小者
 其みまろし下権しげんのちりせん白丁
 とまひひしとまも大衆おほしやう也
 石火明石 いしか 砲たづのめり焼やき口傳
 まひひとまをたし宮みや口傳
 内障中障外障うちまがらみとまのす也
 魚石 いさし 砲たづの黒くろとま海うみ子ことま
 彼かまきてはねあくく一ひと如茶か口
 傳たづと茶碗ちawan折し入いくちりて
 内障うちまがらみとま海うみのすけりし彼か

とりて見まらまな一ひとり
 天華粉 てんかふ かすり此粉ここのこなを
 竹たけのこなあくまわくくく水みづと
 あいあくくくくくく付つき
 内障うちまがらみとまのすけりしあは
 口傳くちわんり
 牯坊 こぼう びりかしく焼やきまひ
 口傳くちわん星外障せいがいまがらみとまどあくをたそ
 血ちまのけらぬ也なりいふふらぬ也なり
 天南星 てんなんせい ぬきまらりくくく



とらうてふれまひくを外
障腫とらうす溜と泥一血と
とれ油きよい屋す

○枳石 へいしとらうてふれまひく
おろしけらふきせ中障外障
とりとけりは若ららの一也

○白石脂 ちの袋角と油燒
くさきせりけりひよ若

○麒麟石 目りてふれまひく
とらうて目り若らうらふき血

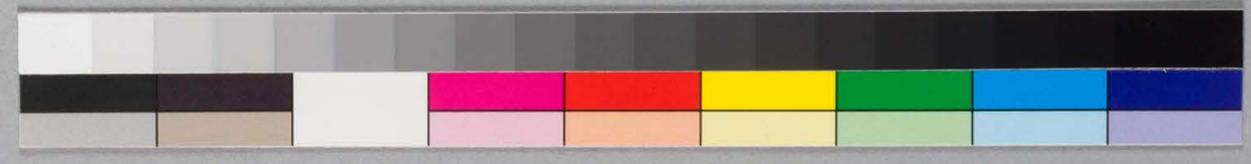
と洞乾葉也まひくくさきせ也

○天石 へいしとらうてふれまひく
る若ふたれもろを二日油燒く
せり碑もせいひく目り

かす油りもろとらうてふれまひく
らひくせもろてふれまひく

一目りて燒くれを外障腫の
きふめふ若らうきよい屋す

○白粉 ちののろのせもろ
外障とらうてふれまひく



小石の如きものもいふるが如し

○丹礬 丹礬 丹礬といふは丹礬といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

○葛根 葛根 葛根といふは葛根といふ

此石を以て外障といふ

○蓬砂 蓬砂 蓬砂といふは蓬砂といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

此石を以て外障といふ

○貝石 貝石 貝石といふは貝石といふ

此石を以て外障といふ

○貝齒 貝齒 貝齒といふは貝齒といふ

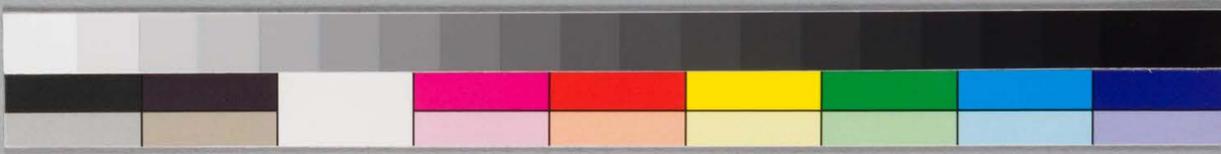
此石を以て外障といふ

○竜骨 竜骨 竜骨といふは竜骨といふ

此石を以て外障といふ

○熊膽 熊膽 熊膽といふは熊膽といふ

此石を以て外障といふ



可らち蒸ふくくさくさく焼

きよしやうりくさくさくさく

虎骨 液とくさくさくさく

らしとくさくさくさくさく

ひらさのほつしき

牛黄 きよかじんげの目人

足よしきふと若外障よと若

土竜石 うら目のとくさく尾

さう中を切てくれあい入

黒燐ふくさくなり

沉香 切てくさくさくさく

目小若さのほくさくさく

しきつしき

大細言 目とくさくさく

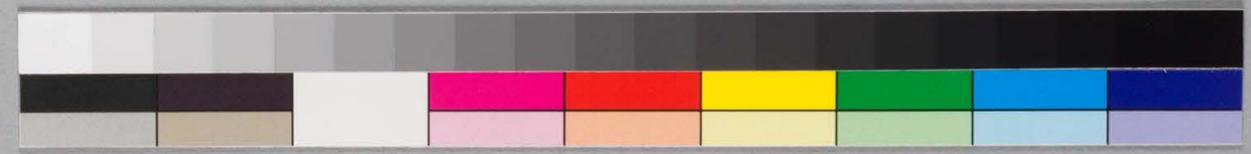
やうりくさくさくさくさく

とく

右何藥種之性見合指引之
加減一大事也能く得心者也

文録元年己

大呂念日



此三卷鈔者雖為唯授一人極
意依種々御懇望悉令授尔
畢。柳以不可他見也

肖元和第三曆

献春下旬七日

滿安養藥代薰莖園

十指指福十日燈

三祥天人君德姑

樣情比貴妃福露

冬食之於偏而安羅起未寸旬幾
天仁浮運者

阿雁志無加姿能可多身

六毛見尔

○血月之内藥

たつき中

大豆小

さき中

まき中

大豆中

けい中

ひき中

右葉一用分

○風眼之内藥

ひき中

大豆大

大豆中

けい大

大豆大

さき中

まき中

右葉一用分

○疾目之内藥

まき大

大豆中

ひき小

大豆小

大豆中

けい大

右葉一用分

○目内藥

ひき

大豆中

まき中

たつき

大豆

人豆

かん

右のまき中

さき

入て七ん中

○同のひき中

まき

大豆中

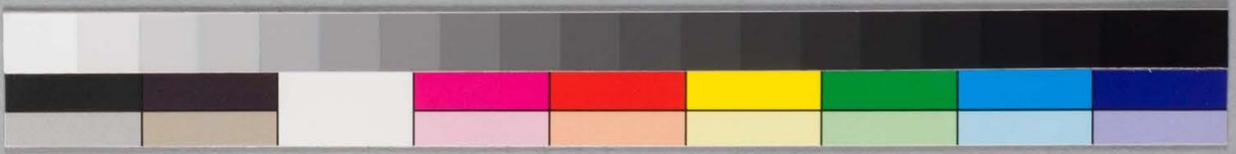
まき中

まき

大豆中

○付目之藥

らき乃まき中



ゆき目のあひまきり乃ま
まじえん まじえん
右等小倉ありまきり乃ま
同あひまきりのま

まじえん まじえん
右等小倉ありまきり乃ま

● 竜脛膏

竜脛膏 寒水石 石膏 生肌膏
白石脂 生肌膏 右等小倉ありまきり乃ま

● 金明香

金明香 右等小倉ありまきり乃ま

右等小倉ありまきり乃ま

● 白梅膏

白梅膏 右等小倉ありまきり乃ま

20/1161



